

和らぎ 88

YAWARAGI

2021NO.84



令和3年11月15日
社会福祉法人 和光会
〒431-1101 浜松市西区和光町517
TEL (053)486-2804
FAX (053)486-0149
<http://www.wakoukai-net.com/>



毎年プール開きに大きなプールを使って、鮎のつかみ取りを行っています。自分たちで捕まえた鮎は、すぐに先生たちが炭火でこんがり焼いてくれて、園庭でおいしく頂いています。皆、おいしそうに皮や身も残さず上手に食べていて、「おいしかった」「もっと食べたい」と子どもたちにとっても好評です。鮎のつかみ取りを通して、楽しむだけでなく、食べることや命の大切さを学べる一日になりました。(和光こども園)

SUMMERY

各施設での夏らしい場面を集めました。

毎年恒例のグリーンカーテンは、長雨と猛暑の影響で、成長がいまいちでしたが、お散歩にきた利用者様にきゅうりやゴーヤの収穫をしてもらいました。

「昔は私も畑でいろいろお野菜作っていたのよ」「自分で作ったお野菜は、やっぱり美味しいわよね」等々昔の経験をたくさん話してくれました。今後も、少しでも外の空気に触れ、植物を眺め、「季節」を感じてもらえるようにしていきたいです。(なごみ)



白羽町パラダ会のみなさんが『かき氷屋さん』になって登場。ひとりひとりの注文を聞いてかき氷を作ってくださいました。たくさんの味があり迷ってしまいます。欲張ってレインボーで注文する子ども・・・
白羽町パラダ会のみなさんは、夏祭りにかき氷を出店して下さっていましたが、コロナ禍となっても子どもたちにかき氷を届けにきてくださいます。(和光寮)



少しでも夏の雰囲気味わおうと、5月に種をまいたひまわりの世話を欠かすことなく行ってきました。その甲斐もあり見る見るうちに成長していき、その成長過程を全員で楽しむことができました。最後には満開でグループホームの夏を彩ってくれました！(グループホームあさぎり)

SUMMER
IN THE
AIR



夏休みにみんなでかき氷作りをしました。
子どもたちはいろいろなシロップの中から自分で好きな味を選ぶことに大喜び！
手作りのメニュー表も作り、本物のかき氷さんのようです。
目の前で出来上がるかき氷はふわふわで、暑い夏空の下で食べるとひんやり冷たく、
夏を感じることができました。(あさぎり)

駒沢わこう保育園

夏まつり

三軒茶屋わこう保育園



夏祭りの開催を心待ちにしていた子どもたち。

クラスごとにどんなお店をやってみたいかを話し合い、れんげ組は「変身写真屋さん」さくら組は「ゲームセンター」ひまわり組は「自動販売機屋さん」をすることに決めました。必要な材料を持ち寄り、年長の子どもたちを中心に準備を進めていきました。

行事の開催には「昔ながらの行事や文化に触れ、子どもたちの関心を高めるとともに親子で一緒に楽しむ」という保育者のねらいがあります。その為、クライマックスには盆踊りを実施、お神輿は年長さんが考えたデザインにし、「もったいないばあさん音頭」を踊りました。子どもたちの考えたお店だけではなく「ヨーヨー釣り」などの夏祭りらしい、保護者も懐かしくなるようなコーナーも設けました。子どもたち同士、保護者同士のつながりを深める場にもなったと感じています。

7月に再度発令された緊急事態宣言により駒沢わこう保育園と三軒茶屋わこう保育園（分園）との合同開催は見合わせるかたちとなりました。三軒茶屋わこう保育園ではお迎えの時間に親子で楽しめるように玄関先にヨーヨー釣りの屋台を設けました。とても小さな夏祭りとなってしまいましたが「子どもの頃に戻ったようでワクワクしますね～」という保護者からの言葉も頂き、少しでも夏らしい催しを感じて貰えてよかったですと思います。

駒沢わこう保育園、三軒茶屋わこう保育園、夏祭りの実施の仕方は異なりますが、それぞれ子どもたちを思い夏の行事を楽しむ工夫をしました。上手くいくことばかりではなくて見直す点も勿論あります。来年度こそは、駒沢、三茶で合同の夏祭りを実施出来たら、今回の夏祭りですべての園が感じたことを生かしてより素敵な夏祭りを実施できると確信しています。

不特定多数が集まる地域の行事は軒並み中止となり、日本の文化を感じられる機会が減ってしまいました。私たち保育者は子どもたちに自分たちが無意識のうちに経験していた思い出を体験する機会を作っていく必要性を感じています。東京が目指す with コロナ。コロナ禍で何ができるか？を考え、新しい生活様式を取り入れ対策をしながら交流や行事を積極的に行っていきたいと考えています。



れんげ 「変身写真屋さん」



さくら 「ゲームセンター」



ひまわり 「自動販売機屋さん」

なごみこども園

卒園児夏休み職場体験

春から夏へと季節がうつりかわる頃、少し緊張した表情で「こんにちは、お久しぶりです。」とお母さんと共に来園した健生君。がっちり大きくなった背丈と丁寧なあいさつに成長を感じながらも、マスク越しでもわかる当時と変わらない優しい笑顔。夏休みの自由研究で“保育士の仕事”を調べたいのでインタビューをさせて欲しいとのお願いでした。小学校は離れてしまっても今でも交流があるという瑛真君を誘い、「夏休みの1日保育体験計画」がスタートしました。

午前中は幼児さんとたくさん遊び「けんにい！てるにい！」と子どもたちから大人気。大きな体で高い所に止まる蝉も、サッと捕まえてくれました。プールの時間は学童保育（なごみ倶楽部）の子どもたちとダイナミックな水遊び。彼らが年長の時の年少さん、2歳児さんだった子どもたちが「あれってけんちゃんとしてるちゃんだよね!？」と嬉しそうな姿も。異年齢クラスで生活するなごみこども園、当時年長さんに憧れていた記憶が今でも強く心に残っているようです。

そして食事やお昼寝のお手伝い。ポイントを聞かれ「子どもたちが食べなくなる声掛け」「お手伝いする時も大人がスプーンを口に運ぶのではなく、子どもたちから口を開けて、自らパクッと食べることを待つ」ことを伝えると、「なるほど！そういうことね」と早速実践。優しいお兄さんたちの促しに、普段は食べにくい苦手な食材にも挑戦することができました。



けんせい
森 健生
平成 27 年度 卒園
6 年生



てるま
瑛真
平成 27 年度 卒園
6 年生



卒園から6年。小さかったあの2人が、お世話をされる側だったあの2人が、小学生になり小さい子たちのお世話をしている姿を見て、とても心が温かくなりました。でも、時々垣間見る気さくでかわいい姿に当時の面影も感じ、変わり過ぎない姿にも一安心。2人の質問にもあった「保育士のやりがいとは？」の答えは、まさに今この瞬間。

まだ何も自分でできない赤ちゃんの頃から大切に見守り長い年月を一緒に過ごしたこの子たちが、こうして大きくなり会いに来てくれただけでなく、**保育者という存在を覚えていてくれて興味を持って調べてくれる...こんなに嬉しいことはありません。**

この数年間で何人もの園児を新たな社会へと送り出してきた私たち保育者。ふとあの頃を思い出し、あの子は元気かな？どんなふうになくなったかな？と思っても、自ら会う機会を作ることはなかなか難しいものです。特に外部との接触をできるだけ減らすこのご時世では行事も縮小化。会う機会の少ない卒園児との再会の場も激減してしまいました。卒園児や保護者のみなさんにとって、**何年たってもしっかりと立ち寄って心を落ち着けることのできる...**なごみこども園はそんな場所でありたいと思います。あっという間に大きくなる幼少期のこの子たち。ひとりひとりの時間を大切に育んでいきたいと、2人の「夏休みの1日保育体験計画」でより感じた1日となりました。

お昼寝でも、戸惑うことなくたくさんの子を眠りへと誘ってくれました。優しくおでこをさすり小さく小刻みにトントンと擦る寝かし方は、健生君が好きだった眠り方。ゆったりゆっくりお腹や背中に手を置きさすりながら頭を撫でるのは、瑛真君が好きだった眠り方。**無意識なのか意識してなのか、自分の落ちつく方法となっていました。**

お昼休みに1歳児～卒園まで担任だった保育士とのインタビュー。「保育園では何を一番努力しましたか？」「怒っている子、泣いている子を励ます方法は？」「先生をやって嬉しいことは？」「仕事をしていて大変なことは？」など、仕事のことから子どもの対応のことまで、いろいろな質問を考えてきてくれました。



小さい頃からお絵描きが上手な健生君。みんなからのリクエストに応えてくれました



弟と妹がいる長男の瑛真君。ご飯の作り方や道具の使い方をわかりやすく教えてくれました。

朝霧の園 「敬老会」



敬老の日のお祝いを行いました。皆さまそれぞれのお歳に合わせた長寿のお祝いを行わせて頂き、自分達が生きてきた時代のお話を思い出話として職員、皆さまと共に盛り上がりました。

「私が生まれた時はまだ戦争の時代だったよ。」

「今と違って昔は裕福な生活が出来なかったけど、今はいい時代になったね」

「今年はコロナで町のお祭りも無かったからお祝いをしてもらって嬉しい」

「また来年も敬老のお祝いをしてもらおうから長生きしないと」等

色々なお話を聞く事が出来ました。来年度も皆さまと敬老会の実施、お祝いを行わせていただきたいと感じました。

なごみ 「どら焼き作り」



利用者様よりリクエストのあった「はちみつどら焼き」を作りました。生地にみりんをいれることで、しっとり焼きあがりました。甘い香りが充滿し、お腹も心も満たされました。自分たちで手作りするおやつはとても美味しかったです。



掲示板

令和3年6月1日～令和3年8月31日までに寄せられた苦情

グループホームあさぎり

グループホーム職員による公用車運転時、地域の方より運転の仕方について苦情をいただきました。苦情をされた方へお電話をし謝罪を受け入れていただいています。

和光こども園

マスクを顎に着けている職員がいたとの指摘がありました。今後、感染対策の面からも、その様なことが無いように気をつけていきたいと思えます。



行事

なごみこども園 2月12日(土) なごみの森の音楽会

和光こども園 2月19日(土) マラソン大会



編集後記

84号の特集は「夏！」

真夏の太陽の光にも負けないくらい輝く笑顔を見せてくれた子どもたちや利用者様。仲間との楽しい体験にワクワクドキドキして笑ったり、嬉しい出会いに微笑んだり、夏ならではの自然に感激するなど、様々な経験を喜んでいただきました。

「笑う門には福来る」。笑顔には免疫力や向上心、幸福度アップなどの効果があると言われています。マスク生活で表情は見えにくいですが、マスク越しでも笑顔が伝わるよう、今まで以上に大きな笑顔で子どもたちや利用者様と接していきたいと思えます。

(和光こども園 山口友美)

幼保連携型認定こども園 / 小規模保育事業

和光こども園

浜松市西区和光町 517 TEL:053-486-0434

なごみこども園

浜松市北区三方原町 1367-1 TEL:053-420-7530

なごみ保育室(小規模)

浜松市北区三方原町 1364-5 TEL:053-525-9666

高齢者福祉事業

特別養護老人ホーム 朝霧の園

浜松市西区庄和町 2476-1 TEL:053-487-2202

地域密着型介護老人福祉施設 なごみ

浜松市北区三方原町 1383-1 TEL:053-420-7531

障害福祉

共同生活援助事業 グループホームあさぎり

浜松市西区庄和町 2476-2 TEL:053-487-2122

就労継続支援 A型、B型

就労移行支援 朝霧フードラボ

浜松市西区志都呂 2-12-19 TEL:053-543-4110

相談支援事業所 あさぎり

浜松市西区志都呂 2-12-19 TEL:053-523-7610

社会的養護・療育支援

児童養護施設 和光寮

浜松市西区和光町 517 TEL:053-486-0141

地域小規模児童養護施設 早出わここの家

浜松市中区早出町 1371-5 TEL:053-555-2557

福祉型障害児入所施設 あさぎり

浜松市西区館山寺町 136 TEL:053-487-0229

児童発達支援事業 あさぎり

浜松市西区館山寺町 136 TEL:053-487-6877

収益事業

Ncafe

浜松市北区三方原町 1364-5 TEL:053-525-9677

志ノ蔵

浜松市中区千歳町 76-4 TEL:053-454-4096

認可保育園(東京エリア)

駒沢わここの保育園

世田谷区駒沢 5-2-7 TEL:03-5760-6561

三軒茶屋わここの保育園(分園)

世田谷区三軒茶屋 2-52-13 TEL:03-3410-3715

社会福祉法人 和光会

TORCH RELAY



～東京オリンピックの聖火トーチを見せて頂きました～

7月27日（火）に、聖火ランナーとして走られた卒園児の保護者の江間さんのご厚意により、園の子どもたちにトーチを持たせて頂いたり、走った時の様子を聞かせて頂いたりしました。子どもたちからは、初めて見るトーチに「お～！」と感動する声が上がリ、「テレビで見たことがある！」「オリンピックの！」などという声が聞かれました。また、数日間、事務室に展示させて頂いた為、多くの保護者の方々にも見て頂くことが出来ました。（和光こども園）

